「自ら評価」案件候補の外部募集について

1 昨年度（平成21年度）の実施方法

昨年度（平成21年度）の「自ら評価」案件候補の選定に当たっては、案件選定の間口を広げる観点から、従来からの委員会が整理する情報に加え、食品安全モニターからの「自ら評価」候補案件の募集を試行した。概要は以下のとおり。

（参 考）

- ・ 食品安全委員会の改善に向けて（平成21年3月26日食品安全委員会決定）
- ・ 平成21年度食品安全委員会運営計画（平成21年3月26日食品安全委員会決定）

- 対 象 食品安全モニターのうち平成20年に就任した者（235名。全体の半分）
- 提出方法 FAX又は郵送
- 期 間 平成21年4月21日～5月20日（30日間）

2 課題

寄せられた提案件数が少なかった（3件）ため、より多くの提案を集められるよう、

- ① 募集対象を拡大するなどの見直しが必要ではないか。
- ② 手軽に提出できる提出方法の検討が必要ではないか。

（参 考）

- ・ 平成22年度食品安全委員会運営計画（平成22年3月18日食品安全委員会決定）

食品安全委員会の改善に向けて（平成21年3月26日食品安全委員会決定 抜粋）

Ⅲ 改善に向けた方策

1. 食品健康影響評価に係る改善方策

2) 自ら評価に関する改善方策

(2) 改善方策

① 国民の意見をより反映するための改善

○ 以下のとおり、自ら評価候補案件の募集方法の改善と選定プロセスの見直しを行う。

- a 企画専門調査会の調査審議に供する自ら評価候補案件について、従来の情報源からの抽出に加えて、食品安全モニター等からの募集を行うなど、選定に当たっての間口を広げる。

平成21年度食品安全委員会運営計画(平成21年3月26日食品安全委員会決定 抜粋)

第3 食品健康影響評価の実施

3 委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の定期的な点検・検討及び実施

① 自ら食品健康影響評価を行う案件の選定

委員会は、委員会が一元的に収集した危害情報に関する科学的知見、食の安全ダイヤル等を通じて国民から寄せられた危害に対しての科学的情報、当該危害に対するリスク管理機関の対応状況等の情報を定期的に整理する。

平成21年度においては、企画専門調査会において調査審議する委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件候補について、案件選定の間口を広げる観点から、従来からの委員会が整理した情報に基づく案件候補に、新たに食品安全モニターなどから募集した案件候補を加えることを試みる。

平成22年度食品安全委員会運営計画(平成22年3月18日食品安全委員会決定 抜粋)

第3 食品健康影響評価の実施

3 自ら評価を行う案件の定期的な点検・検討及び実施

① 自ら評価案件の選定

委員会は、委員会が一元的に収集した危害情報に関する科学的知見、食の安全ダイヤル等を通じて国民から寄せられた危害に対しての科学的情報、当該危害に対するリスク管理機関の対応状況等の情報を定期的に整理する。

自ら評価案件の選定について優先順位の考え方を整理しつつ、委員会が整理した情報に基づく案件候補に、国民のニーズを踏まえて的確に対応していく観点から食品安全モニターを含め広く募集した案件候補を加えるとともに、調査審議の継続的・体系的な実施の観点から過去の調査審議において科学的知見の不足等を理由に評価案件とされなかった案件候補や調査研究事業等により情報を収集している案件候補を加えること等を含めた検討を行う。